

安保関連法 これで「採決」なの? こんな「戦争法」廃止しかないでしょ!

戦争法
強行可決

安倍自公政権を
許さないぞ!

連日数万人が国会を大包围

空前の規模のデモ・集会が連日国会を包围し、戦争法案を許さない声をとどろかせました。

安保法案が国会で強行採決されたあと、「学者の会」は記者会見で、「戦争を可能にする違憲法案の強行採決は憲法9条のもとで68年間持続してきた平和主義を捨て去る暴挙だ」「我々の運動は新しい民主主義という新しい運動を作り出した。これからが本当の闘い」と表明しました。

私たちはこの安倍自公政権の歴史的暴挙を絶対に忘れません。この国のかたちを変えようとするどんな企ても見逃さず、地域から戦争法を廃止するたたかいを進めましょう。



9月19日深夜、数万人の国会包囲行動



9月20日、「学者の会」の記者会見

声明

安倍自公政権は、9月19日、安保関連法案を強行採決し可決成立させました。

私たちはこの暴挙に激しい怒りをこめて強く抗議します。

参議院特別委員会での乱暴きわまりない「採決」の模様は全国に放映され、多くの国民の失望と怒りを買いました。安倍親衛隊と化した自公国会議員とくらべて、国会を包む「安倍はやめる」「戦争法案廃案」と叫ぶ若者たちの声はどれほど日本の未来を感じさせたことでしょうか。

この国を土台から壊す安倍政権

この間、憲法学者や弁護士ばかりではなく、元最高裁長官・判事、歴代の法制局長官も、この法案を「憲法違反」と断定しました。

若い母親も高齢者も、子どもたちや孫たちが将来戦争に巻き込まれるのではないかという不安を強め、デモや集会にたちあがりました。「決めるのは政治家だが戦争に行かされるのはオレたちだ」と高校生までもが街頭で抗議しました。私たちが批判するのは、この「戦争法」によつて、集団的自衛権で他国のために戦争できる国にしようとすることや、いつでも紛争地域で後方支援活動をしたり治安維持のために武力行使を可能にしたりすることだけではありません。

政府が勝手に憲法を解釈してその裁量で戦争に参加できるようにする政府のやり方自体が、「政治家は憲法によって縛られている」という立憲主義の原則を完全に壊しているからです。

安保関連法は廃止あるのみ

安保関連法案が国会に上程されたとき、私たちはその廃案を求め、思想信条を超えてあつまり「町民の会」を結成しました。そして、全国各地の反対運動に呼応して、さまざまな運動を展開してきました。

「戦争法案に反対するアピール」賛同署名は360名に達し、全戸配布チラシ(計3回)の中で私たちの意志を示しました。また35台の軽トラによる「平和パレード」に取り組んだり、大看板を各所に設置したりして法案廃案をアピールしました。



法案自体は可決成立させられましたが、「国のかたち」そのものを変えるこのような悪法は一刻も早く廃止しなければなりません。

成立直後の世論調査でも「安保関連法を評価しない」が6割に達しており、多数の弁護士による大規模な「違憲訴訟」が準備されています。たたかいはこれからです。

全国で高まる戦争法阻止の声に呼応し、私たちは「町民の会」の活動を発展・継続したいと考えています。

子や孫たちが安心して暮らせるふるさを作するため、ひとりでも多くの皆さんが私たちと共に行動に参加されることを心から期待します。

2015年9月

戦争法案に反対する池田町民の会

戦争法案に反対する池田町民の会

呼びかけ人 帯刀益夫(東北大学名誉教授)他10名
事務局 牛越邦夫(090-9243-0947)他4名